



# イラク復興支援群活動報告

1 8 . 7 . 1 6

イラク復興支援群

## 報 告 項 目

- 1 全 般
- 2 人員、装備の状況
- 3 明日の活動予定

全 報 (18年7月16日)

- ◎ サマーワ主力
  - 人員・武器・装具異状なし
  - 撤収業務関連
    - ・ 後送コンテナの作成 (7本)
    - ・ 後送コンテナの輸送 (16本)
    - ・ 後送車両の輸送 (24両)
  - 宿営地関連施設の整備
    - ・ 宿営地散水
    - ・ ゴミ回収
    - ・ 屎尿汲み取り
    - ・ Tレックス
    - ・ コンボイ作業
  - その他
    - ・ イラク陸軍に対する宿営地移譲式典実施
    - ・ タリル移動

全 報 (18年7月16日)

- ◎ クウェート (後送業務隊、クウェート分遣班)
  - 後送業務隊
    - ・ 後送車両受け入れ (24両)
    - ・ 後送コンテナ受入 (16本)
    - ・ 倉庫におけるコンテナの開梱 (11本)
    - ・ 倉庫におけるコンテナ詰め (2本)
    - ・ PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車 (1次洗浄2両、2次洗浄8両)
    - ・ ナビスタ通過支援
    - ・ 群第2波大使館意見交換会支援
    - ・ 10次群検数・検量支援
    - ・ 陸幕支援チーム (クールダウン) 受入支援
    - ・ 防衛庁長官の後送業務隊視察受け
  - クウェート分遣班
    - ・ 10次群装備品回収
    - ・ 10次群検数・検量支援
    - ・ CFLCC調整

**撤収の進捗状況(サマーワ)**

区 分	計 画		実 績 (d)	進捗度		残数	備考	
	総 数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (d/a)	計画比 (d/b)			
コンテナ詰 (弾薬除く、点数)		60,122	60,122	60,122 【628】	100%	100%	0	完了
後送	コンテナ	337	337	337 【16】	100%	100%	0	完了
	車 両	203	175	175 【24】	86%	100%	28	サマーワ発送完了

【 】内は、7月16日分の実績を示す。

**撤収の進捗状況(クウェート)**

区分	計 画		実 績		進 捗 度		残数	備考
	総数 (a)	当該日迄の完了数 (b)	サマーワからの受領数 累積 【本日分】	準備完了数 (c)	総数比 (c/a) (%)	計画比 (c/b) (%)		
点 数	掌握中	掌握中	掌握中	8,472			掌握中	
車 両	287	94	104 【0】	96	33.4	102.1	191	

**撤収関連業務成果 (7月16日)**

区分	業務内容
コンテナ作成	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">7個コンテナ作成</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●車両物品 : 1個</li> <li>●通電物品 : 5個</li> <li>●需品物品 : 1個</li> </ul>
処分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">不用決定品目の処分</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●通電物品 : 遠距離監視システム等</li> <li>●衛生物品 : 手術セット等</li> </ul>
輸送	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">物品後送</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コンテナ後送 : 16個</li> <li>●車両後送 : 24両</li> </ul>

**後送等業務進捗状況 (サマリー)**

項目	進捗状況	評価	備考
復興支援活動の整理	100%	終了	
宿営地の整理	イラク陸軍に対する宿営地移譲式典実施	終了	
物品の不要決定処置	100% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">986/986</div>	終了	
コンテナ詰め	100% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">60,122/60,122</div>	終了	
コンテナ輸送	100% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">337/337</div>	終了	
人員輸送	62% <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">351/570</div>	順調	タリルに129名

上段:増人員数

下段:減人員数

# 人員現況

区分	所屬人員	サマワ			クウェート			バグダット			バスラ			キヤン・スィディ			タリル			その他			国外		国内		(備考) 総員の数化及び 増減人員の変化	
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出賃人員(帳上)	増減人員	所在人員	増減人員(帳上)		所在人員
10次支援群	481	0	145	82	0	301	0	0	0	0	0	0	0	0	145	0	175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	先行班24名(KW) 先行班2名(タリル) 第1班39名(KW) 第2班107名(KW) 第3班28名(KW) 第4班52名(KW) 第5班145名(SW→タリル) (KW)
10次警務派遣隊	10	0	2	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	先行班2名(KW) 2名(タリル) 第2班2名(KW) 第3班2名(KW) 第5班2名(SW→タリル)
業務支援隊5次要員	111	0	22	18	0	74	5	5	4	4	1	1	0	0	22	0	28	0	0	0	0	0	0	0	110	0	1	先行班6名(KW) 3名(タリル) 第1班7名(KW) 第2班10名(KW) 第3班7名(KW) 第4班16名(KW) 第5班22名(SW→タリル) 第6班2名(KW)
供送支援隊	105	0	2	0	0	93	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	12	0	0	0	0	0	0	0	105	0	0	先行班5名(タリル) 第3班2名(KW) 第5班2名(SW→タリル)
合計	707	0	171	98	0	474	5	5	4	4	1	1	0	0	171	0	217	0	0	0	0	0	0	0	701	0	5	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む  
TV電話は、7月9日をもって使用中止



## クウェートの治安状況等(7月16日(日))

区分	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 倉庫・宿泊場所等活動地域:異常なし。	N/C
	2 後送コンボイに与える影響 (1) MSRタンパ上、特にクウェートからタリル空港までの経路上、後送コンボイに対するIED攻撃の可能性があり、業者に警戒を促す必要がある。 (2) クウェート国内における後送コンボイに対する小火器による攻撃の可能性は否定できず、業者に注意を促す必要がある。	N/C
	3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日主要国道で発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40, R80上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況) (3) ロータリー交差点の進入・進出及び測道から本線への進入時 (4) 砂塵及び砂嵐発生時、視界不良。安全速度の厳守	N/C
	4 宿泊場所及び倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び倉庫等への移動間は警戒する必要がある。	N/C
	5 その他 付紙「クウェートでの記事紹介」	7/16追加

## クウェートの治安状況等(7月16日(日))



区分	内容	備考
MSR・ASR等	1 MSR・ASR脅威情報 (クウェート所在民間警備会社及び[REDACTED]、7/16現在) ①ASRジャクソン: [REDACTED] ②ASRボストン: [REDACTED]	N/C
	2 MSRタンパ これまでIED事案・カージャック等が毎月発生している点から、特にタリル空港周辺及びクウェートまでの南部地域脅威度は高いという認識	N/C
気象	1 天気: 晴れ 2 気温 : 1100現在の気温(直射日光下): 52.1°C(昨日比+2.7°C) : 0700現在の気温(直射日光下): 42.1°C(昨日比+0.7°C) 3 17日 風塵が発生する可能性あり (1) 明日は砂塵の発生の可能性あり。午前中はC-130の飛行に影響はないが、午後は影響が出る可能性があるものの運行ができないほどではないと予想。 (リアルサレム空軍基地 空自 気象班情報)	7/16更新
	(2) DBに及ぼす影響 ア 視界不良による後送コンボイの目的地への到着遅延及び到着後の作業遅延の恐れあり。 イ PWC洗浄施設における車両洗浄を遅延させる恐れあり。	N/C

## クウェートでの記事紹介



項目	概要	情報源
防衛庁長官 クウェート訪問 記事	(記事の骨子) 1 日本の防衛庁長官がクウェート訪問のため、15日東京を出発 2 長官のクウェートでの行動予定 (1) ジャビル第1副首相 兼 国防相と会談 (2) 陸自の帰還を歓迎するため米軍キャンプを訪問 (3) クウェートで活動する後送業務隊を視察 (4) 空自が所在するリアルサレム空軍基地を視察 3 後送業務隊任務の紹介 4 イラクにおける陸自の撤収及び空自の活動地域拡大を紹介 (評価) 防衛庁長官の来訪、イラクにおける陸自の撤収及び空自の活動地域拡大を紹介するとともに、友好国として日本のイラク関連動向について関心が高いことを示したものと見料	ARAB TIMES(7.16)

**18年7月17日(月)の活動予定**

群主力	後送業務隊	クウェート分遣班
<ul style="list-style-type: none"> <li>・離脱第5波のCVへの移動</li> <li>・帰国第1波クールダウン</li> <li>・後送車両の輸送(タリル発 28両)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後送車両受入(28両)</li> <li>・<span style="background-color: black; color: black;">          </span>倉庫におけるコンテナの開梱(6本)</li> <li>・<span style="background-color: black; color: black;">          </span>倉庫におけるコンテナ詰め(6本)</li> <li>・PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車 (1次洗浄6両、2次洗浄3両)</li> <li>・ナビスタ国境通過支援</li> <li>・群離脱第5波の出迎え</li> <li>・10次群検数・検査支援</li> <li>・帰国第1波CA研修支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10次群装備品回収</li> <li>・10次群検数・検査支援</li> <li>・CV受入支援</li> <li>・CFLCC調整</li> </ul>

**バグダッド 日誌 (7月16日その1)**

○ バグダッド勤務をふりかえって

私の勤務も最終局面を迎え、本来業務に加え1次空自連絡班への引継業務が加わり忙しく走り回る日々が続いている。「チェーンとギアに油を差せば速く走れるようになるよ!」と          さんがまじないをかけてくれた愛車(自転車)の黒いスポーツカーに乗り、黒いヘルメットを被ってキャンプヴィクトリーのメインストリートを激走する。ドライバーのような熱風を受けつつがむしゃらにペダルを漕ぐと、MPが設置している自動速度取締装置は12マイル/hを記録する。時には後続車にクラクションをならされ、粗悪な道路にタイヤをとられることもある。しかし、各国の兵士が爽やかに挨拶に答えてくれて爽快な気分である。調子に乗って高級将校に対しても「ハーイ!」と声を掛け、慌てて「サー」を付け加える。そうこうするうちに「あ、着弾音!」と退避施設に身を隠す。まさに、こんな6カ月間だった。

何の不自由なく業務に専念できる最高の装具と安全な施設を与えて頂き、がむしゃらに職務に専念した。しかし、調整はそれだけでは上手いかず、様々な状況は灼熱の向い風となって、つまづくことも壁に当たることもあった。時には(度々)班長から愛情のこもった指導もいただいた。しかし、コアリションのメンバーや高級将校の方々は大変紳士的で友好的に接していただいたと感じている。不意急襲的に襲ってくる砲弾に多少悩まされたものの、大変有意義で充実した6カ月間であった。ここイラクでの6ヶ月は何にも代え難い良い経験をさせていただき大変感謝している。現状では能力不足のために班長の右腕になるどころか足手まといになったことが多々あり、迷惑をお掛けしたものの、私にとっては班長と寝食を共にしたこの6ヶ月は自衛官として人間として非常に勉強になった。今後、この経験を活かせるよう努力精進したいと思う。この場を借りて、派遣の機会を与えていただいた部隊の方々、能力不足の私に丁寧に対応していただいた調整担当者の方々、そして親身に指導してくれた班長に深く御礼申し上げます。

○ 御購読有り難うございました。

- ・友達になったイラクの將軍は最後までフレンドリーで自分のデスクへ御招待!「君の今後の活躍を期待しているよ!」
- ・KBR(宿舎担当)のマダムは「英語上手になったわよ! 帰るなんて寂しいわ!」と抱擁!
- ・国旗掲揚塔には申し送りのため新品の国旗に交換。更に大きな日の丸に!
- ・簡易便所は更に室温を上昇させ、温度計では計測不能! 青い液体が蒸発中!
- ・「バーバー          」バグダッド店、一身上の都合により閉店! ご愛好有り難うございました。

## バグダッド 日誌 (7月16日その2)

C [redacted] Army Commendation Medal受章!!!

昨日パレス(多国籍軍司令部)ホールにおいて多国籍軍団勤務者に対するメダル授与式が実施され、[redacted]がMNC-I [redacted]からArmy Commendation Medalを授与された。

[redacted]の両名はMNC-I [redacted] (以下スタッフLOという。)として、米軍をはじめとするコアリション各国将校に伍して勤務しており、日本隊スタッフLOの二人でデイ・ナイト2交代・24時間の勤務をしている。

日頃からスタッフLOが所属する [redacted] が日本隊スタッフLOの仕事ぶりを大変評価してくれていた。2週間毎に研究命題を与えられ7~8名の他国のスタッフLOとチームを組んで発表するのだが、この研究命題のプレゼンを含んだ総括を実施するチーム・リーダーに、 [redacted] が頻繁に指名(時には立候補したこともあったが...)され、他国のスタッフの2~3倍の割合で研究発表を実施していた。文化・習慣の違う多国籍からなる意見をまとめるのは大変で、スタッフLOの二人は常に寝不足気味であった。このため、 [redacted] にチーム・リーダーの回数を各国同等にするよう掛け合おうとしたが、本人達は「仕事を貰っているうちが華」と百家争鳴する意見交換を楽しんでいるようでもあった。

スタッフLOの二人は、「日本で勤務しているのと変わらず普通に勤務してただけだ。」と言っているが、 [redacted] をはじめとして、研究命題にともに取り組んだ他国の将校も日本のスタッフLOを信頼し、尊敬していることが、私がスタッフLOのオフィスに行くたびに感じる事ができた。

スタッフLOの受章した勲章は本人達の名誉であると同時に、我々バグダッド連絡班の名誉であり、多国籍軍の日本隊に対する評価であると誇りに思っている。

[redacted] おめでとう!!!!